

令和元年度 北海道災害ボランティアセンター 初期支援チーム研修会 開催要綱

1 目 的

平成 30 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震では、安平町、厚真町、むかわ町で、平成 28 年の台風による災害では、南富良野町、新得町、清水町、芽室町で災害ボランティアセンターが設置され、被災者の支援活動が展開されました。胆振東部地震の一部被災地では、規模は縮小したものの活動を継続しています。

災害が発生した場合に、被災者の日常生活や地域生活を一日も早く再建するためには、初動期に円滑に支援体制を構築することが重要です。

本研修は、自らのまちで災害が発生した場合の迅速なセンター立ち上げができる、及び他市町村で発災した場合「初期支援チーム」として支援を展開できる素養を持った人材の育成を目的に開催します。

また、本研修会の翌日に「胆振東部地震災害ボランティア活動の振り返り会」を開催いたしますので、併せて参加することによってより実践的な学びの機会とすることができます。

2 主 催 北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会）

3 とき・ところ 令和元年 6 月 27 日（木） 厚真町総合福祉センター 1 階 大集会室 （勇払郡厚真町京町 1 6 5 - 1 ☎0145-27-2327 ）

4 参加対象 ※下記①・②を満たす社協職員、行政職員（危機管理及び災害時ボランティア受け入れ計画担当、要配慮者支援担当者など）、災害ボランティアネットワーク会議参加団体の構成員等

①北海道災害ボランティアセンターの依頼により災害発生時に初期支援チーム派遣の任につく意思のある者

（※本研修受講者を災害発生時に被災地域に強制的に派遣させるものではありません）

②平成 29 年度からの災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修受講者（受講予定者も含む）

5 参加経費 無料

6 定 員 100 名

7 日 程

9:45 10:30 12:30 13:30 15:00 17:00

(1) 受付	(2) 開会	(3) 基調説明 事例報告	昼休憩	(4) 講義	(5) ケーススタディー	閉会
-----------	-----------	---------------------	-----	-----------	-----------------	----

8 内 容

(1) 受 付 (9:45~10:30)

(2) 開 会 (10:30)

(3) 事例報告 (10:30~12:30)

「災害ボランティアセンター立ち上げを振り返って

～胆振東部地震3町災害ボランティアセンター活動より～

【基調説明、司会者】

- ・北海道社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課
(基礎資料として「胆振東部地震支援社協職員アンケート」)

【コーディネータ兼スピーカー】

- ・一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

【スピーカー】

- ・厚真町社会福祉協議会 ・安平町社会福祉協議会 ・むかわ町社会福祉協議会

・災害ボランティアセンターの立ち上げ初期の状況について、失敗談も含めながら事例報告をお聞きします。受援者（災害ボランティアセンター運営主体となる被災地の社会福祉協議会職員や被災者）の率直な気持ち、行政やNPO等外部支援団体との連携の大切さなど、立ち上げ初期に特に留意すべき点について考えます。

(4) 講義 (13:30~15:00)

「災害ボランティアセンター立ち上げ期に必要な要素と支援者の心構え」

【講師】 一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

- ・災害ボランティアセンターの業務・人員体制・内容やヒト・モノ・カネの集め方、広報活動の形など、特にセンター運営初期に必要な知識を俯瞰的に学びます。
- ・また、地元主体の考え方を理解します。

(5) ケーススタディー (15:15~17:00) 「初期支援の際に留意すべきことから」

【講師】 一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

【事例報告】 苫小牧市社会福祉協議会

- ・胆振東部地震における立ち上げ期支援の事例報告やケーススタディーを通し、地元主体の観点の徹底やスムーズな立ち上げのための事前の準備など、立ち上げ期に重視すべき点について学びます。

(6) ※終了後、任意※「厚真町災害ボランティアセンターの見学」

- ・厚真町本郷にある災害ボランティアセンターの訪問が可能です。

9 研修講師

一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に2011年4月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っている。これまでに海外10ヶ国、国内34地域での被災地支援を実施、延べ9万人以上のボランティアをコーディネート。その経験を基に平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、中でも防災・減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練はこれまで500回以上、延べ受講人数は14,000人以上にのぼる。

主な支援先…東日本大震災：宮城県石巻市等（継続中）、伊豆大島土砂災害：大島町
関東・東北豪雨：茨城県常総市等、熊本地震：益城町・西原村等、
九州北部豪雨：東峰村、朝倉市 等

主な研修実績…災害ボランティアセンター運営者研修 主催：全国社会福祉協議会
各開催地（茨城、福井、岡山、福岡等）県社会福祉協議会

民間事業者による災害時の社会貢献活動 ～企業に求められる災害支援～

主催：栃木県危機管理課
わが家の災害対応ワークショップ
主催：株式会社カインズ 等

10 参加申し込み

別紙「参加申込書」を **6月17日(月)** までに本会あてFAXにてお申し込みください。
なお、参加申込書に記載された個人情報は、本研修の運営管理のみに利用させていただきます。
(配布資料に氏名、所属・役職を記載した名簿を掲載いたします。)

11 会場について

(1) 地図



(2) 駐車場 厚真町総合福祉センター及び厚真町役場の駐車場をご利用いただけます。満車の場合には、当日他の駐車場をご案内いたします。

(3) バス (※H31.4調べ 最新の情報は「あつまバス」公式サイトをご覧ください。)

千歳方面

行き 千歳駅前 (8:00) > 南千歳駅前 (8:11) > 厚真 (9:04)

帰り 厚真 (18:05) > 南千歳駅前 (19:03) > 千歳駅前 (19:14)

苦小牧方面

行き 苦小牧駅前 (9:20) > 厚真 (10:21)

帰り 厚真 (19:00) > 苦小牧駅前 (20:00)

(4) 昼食 昼食の弁当をあっせんいたします。(1個税込700円。代金は当日受付でお支払いください) 希望される方は、申込書に記載してください。なお、**キャンセルは3日前までに**ご連絡してください。

12 申し込み、問い合わせ先

北海道災害ボランティアセンター (担当：宮川・坂本)

(北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階

☎ 011-271-0683 / FAX 011-271-3956